

- recht gestellten Blechen. *L. Ernst.* S. 1741～1744
- 77 (1957) Heft 1, Jan. 10
- Grundlagen und Ergebnisse der Stahlerzeugung im Rotor. *G. Rudolf.* S. 1～10
- Rißanfälligkeit quergerippter Betonstähle. *L. Werner.* S. 11～14
- Entwicklungsgrundlage für Kranbrücken. *E. Karl.* S. 15～23
- Herstellung und Anwendung von Hüttenbims. *R. Walter.* S. 36～43
- 77 (1957) Heft 2, Jan. 24
- Stranggußerzeugnisse für Walzwerk und Schmiede. *H. Josef.* S. 69～78
- Stand der baulichen Entwicklung von Abhitzekessel- und Heißkühlungsanlagen an Siemens-Martin-Öfen. *S. Werners.* 78～84
- Statistische Auswertung von Storugen an elektrischen Anlagen. *S. Volkmar.* S. 100～103
- Beitrag zum Dauerstandversuch an Schamottesteinen. S. 104
- Metallurgical Review vol. 1 (1956)**
- Part 3
- The Pyrometallurgy of Halides. *W. J. Kroll.* p. 291
- The Sorting of Scrap Metals and Alloys. *E. Scheuer.* p. 339
- Corrosion Fatigue. *P. T. Gilbert.* p. 379
- Part 4
- Ion-Exchange Methods and their Application to Metallurgical Problems. *C. B. Amphlett.* p. 419
- Effects of Neutron Irradiation on Metals and Alloys. *A. H. Cottrell.* p. 479
- 鑄鉄の接種処理に関する研究 (I) Mg 処理溶鉄中の接種剤の挙動について. 岡本正三, 外: 103～106
- アルミニウム被覆鋼に関する研究 (II) 合金層の形成について, (III) 鋼材の合金元素が合金層におよぼす影響について. 嶋嶋卓郎, 外: 110～117
- 鋼材表面において富化した元素の局部分光分析 (I) 断続弧光法および火花法による錫の定量. 武井格道: 117～121
- 鉄ニッケル合金のマルテンサイト変態の研究, (I) 界面における Schiebung 変態の挙動, (II) Schiebung 両変態の共存範囲について. 本間敏夫: 122～128
- 铸物 29 (1957) 2**
- 铸物の成分偏析の研究 (IV) 安田和夫, 外: 97～103
- 材料試験 6 (1957) 3**
- 剛さ試験機に関する研究. 中村正久, 外: 152～157
- 衝撃試験に関する研究. 横山武人, 外: 168～171
- 含銅鋼線の疲労強度について. 上田太郎, 外: 172～177
- 研究機関 —
- 東北大学研究報告 9 (1957) 2**
- Polarographic Determination of Tin and Antimony in Iron and Steel. *H. Goto et alii.* ... 97～106
- Electrolytic Determination of Lead in Iron and Steel. *H. Goto et alius.* ... 131～137
- On the Effect of Alloying Elements on the Solubility of Carbon in Molten Iron. *K. Sanbongi et alii.* 147～158
- 東北大学選鉱製錬研究所彙報 12 (1956) 2**
- 溶鉄中の炭素飽和溶解度におよぼす合金諸元素の影響. 三木木貢治, 外: 97～108
- 電気弧光炉鋼溶の誘導電気攪拌 (4) 斎藤恒三, 外: 107～117
- Fe-Mn-Co-CO<sub>2</sub> 系の平衡測定 (補遺) 的場幸雄, 外: 119～121
- 生産研究 9 (1957) 1**
- The Science Reports of the Research Institutes Tohoku University 9 (1957) 1
- 鉄道技術研究資料 14 (1957) No. 2**
- 高周波焼入の疲れ強さにおよぼす影響について一考察 (IV) 中村 宏, 外: 55～90
- 名古屋工業技術試験所報告 6 (1957) 4**
- 鋳型材料の高温における諸性質の研究 (I) 徐熱によ

## 国内最近刊行誌参考記事目次

### — 学協会誌 —

**日本金属学会誌 21 (1957) 2**

高合金工具鋼の熱処理に関する研究 (I) サブゼロ処理による高C高Cr鋼の残留オーステナイトの変態について, (II) 高C高Cr鋼の二段焼入について. 根本 正: 85～92

不鏽鋼の光輝加焼に関する研究 (I) 河上益夫, 外: 99～102

- る熱膨脹および収縮について. 二木邦夫…195～201
- 京東工業試験所報告 52** (1957) 1  
チタンと鉄の容量分析の研究 (I) チタンと鉄の連続滴定法について. 小林重雄…21～24
- 会社刊行誌—
- 製鉄研究** (1959) No. 216  
東田第三および第四高炉の改修について. 小管 高, 外…1391～1410  
洞岡 D. L. 焼結工場の操業経過について. 水田 明, 外…1411～1425  
輸入鉄鉱石のサンプリングについて. 嶋田芳造, 外…1426～1446  
鋳型設計改善の一例. 加藤 健…1447～1454
- 富士製鉄技報 6** (1957) 1  
鋳物用銑鉄の酸素について. 高橋愛和, 外…36～45  
局部硬化を越した線材. 田島喜久雄, 外…58～64  
鉱石中磷の新容量法について. 吉野義則, 外…65～72  
室蘭製鉄所における酸素製鋼作業の推移について. 前田正義, 外…73～82
- 日本钢管技報** (1957) No. 9  
高炉炉況判定の一方法. 下間照男, 外…1～10  
高炉炉壁附着物について. 松本利夫, 外…11～18  
鶴見製鉄所における平炉操業の進展 (I) 渡辺昇, 外…19～24  
大形取鍋 (120 t) 用社製ストッパ関係耐火物の使用試験 (I) 黒鉛質ストッパおよびトップスリーブレンガ. 高野 広, 外…25～31  
中空車軸の研究 (II) 超音波探傷法による保守検査. 赤沢雄二, 外…44～52
- 日立評論 39** (1957) 3  
高張力鋼の溶接性に関する二, 三の考察. 横尾尚志, 外…389～395  
<sup>13</sup>Cr 不锈鋼に関する二, 三の研究. 新持喜一郎, 外…397～400  
砂かみの生成に関する二, 三の研究. 渡辺準平, 外…401～405
- 東洋鋼鉄 5** (1956) 1, 2  
ブリキの表面酸化膜. 大山太郎…16～24
- 旭硝子研究報告 VI** (1956) 2  
塩基性耐火物の研究 (I) 海水マグネシアの死焼に関する研究. 福井忠興…119～132
- 品川技報** (1956) No. 4  
鋼塊加熱炉のスキッドパイプ保護耐火物としての Ritex 煉瓦の活用. (住友金属) 守川喜久雄, 外…2～13  
耐火煉瓦に対する一酸化炭素の影響について (II) 林 武志, 外…52～64
- 神戸製鋼 6** (1956) 4  
セミキルド鋼について (I) 杉沢英男, 外…143～151  
溶接部亀裂試験と鋼材ラミネーションの影響. 応和俊雄…152～155
- 7 (1957) 1  
鍛鋼の超音波減衰に関する二, 三の実験. 野田忠夫, 外…2～8  
セミキルド鋼について (II) 杉沢英男, 外…9～18  
鉄鋼中の微量 Al について. 成田貴一…23～30
- 日立評論 39** (1957) 2  
熱間ダイス鋼HDCの鍛錬方法を異にせる太物機械的性質について. 小柴定雄, 外…85～90  
鋳鉄の黒鉛組織におよぼすガスの影響 (2) Fe-C(飽和)系の組織に及ぼす水素の影響. 添野 浩, 外…91～96
- 電気製鋼 27** (1956) 6  
熱間プレス工具の Heat Checking に関する実験的研究 (3) (4) 藤原達雄…271～300  
カソードエッティングによる高温組織の電子顕微鏡的研究. 江口 勇, 外…301～305  
結晶粒度と窒化アルミニウムの関係について (2) 永田重雄, 外…306～310